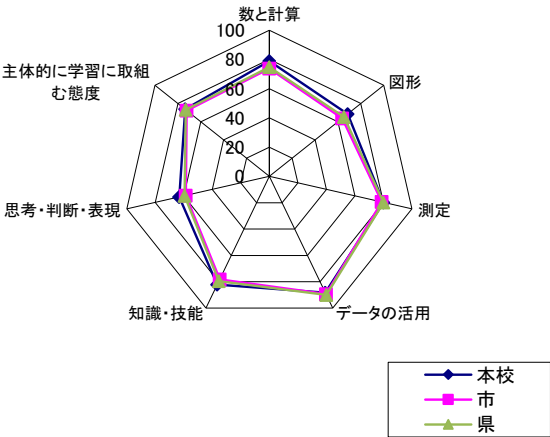


宇都宮市立桜小学校 第4学年【算数】分類・区分別正答率

★本年度の県、市と本校の状況

分類	区分	本年度		
		本校	市	県
領域等	数と計算	78.9	73.8	74.8
	図形	68.5	63.7	65.3
	測定	80.0	78.9	80.1
	データの活用	88.3	89.3	90.0
観点	知識・技能	82.2	78.3	79.5
	思考・判断・表現	63.2	58.6	59.5
	主体的に学習に取り組む態度	73.7	72.3	73.1



★指導の工夫と改善

○良好な状況が見られるもの ●課題が見られるもの

分類・区分	本年度の状況	今後の指導の重点
数と計算	○分子が1の分数が何個で1になるかを問う問題では、県の平均正答率を15.1ポイント上回った。 ○数直線上に示された分数を読み取る問題では、県の平均正答率を12.8ポイント上回った。 ●35×4の暗算のしかたを説明する問題では、県の平均正答率を6.7ポイント下回った。 ●2けた÷1けたの余りの無い計算では、県の平均正答率を3.4ポイント下回った。	・見直しや確かめ算に取り組む機会を繰り返し設けることで、正確性が向上するようにする。 ・計算のしかたを説明する問題は、各単元に取り入れられているので、既習事項を生かしながら説明できるようにし、計算方法の理解を高めていくようにする。
図形	○円の直径について理解しているかを問う問題では、県の平均正答率を5.8ポイント上回った。 ●円の中心と円周上の2点を結んでできる三角形が二等辺三角形になる理由を説明する問題では、県の平均正答率を2.4ポイント下回った。	・問題解決に導くための手順を示しながら学習課題に取り組ませるとともに、図や表を用いたり、既習事項を生かしたりしながら、自立解決を図って説明できるように、段階的に指導を進めていく。
測定	○2つの時刻の間の時間を求めることができるかを問う問題では、県の平均正答率を5.9ポイント上回った。 ○はかりの目盛りを読み取る問題では、県の平均正答率を5ポイント上回った。 ●1分＝60秒の関係を理解しているかを問う問題では、県の平均正答率を0.6ポイント下回った。 ●地図から道のりを読み取って、その和を求める問題では、県の平均正答率を10.9ポイント下回った。	・時刻と時間の概念について、具体操作を通して視覚的に捉えさせたり、日常的な具体場面を例示したりして、活用的な問題にも対応できるよう、指導していく。 ・道のりときよりの概念について視覚的に捉えさせたり、日常的な具体場面を例示したりして、実感的に捉えさせる指導を行っていく。
データの活用	○棒グラフの1目盛りを読み取る問題は、県平均を1.3ポイント上回った。 ●棒グラフから、2番目に多かった組を読み取る問題では、県の平均正答率を4.7ポイント下回った。	・棒グラフの基本的な読み取りに関しては、算数だけではなく、他の教科においても棒グラフや、その他のグラフに触れる機会を多くとり、数値を読み取ったり、変化の傾向を捉えたりしながら学習課題に取り組ませ、グラフに対する習熟を図っていく。